

# 一般質問通告事項一覧

平成29年第1回定例会 NO. 1

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(1)	古橋 智樹	1. 義務教育後のかすみがうら愛郷心として市の自負を	①義務教育時の取組みと故郷を愛する意識の把握・効果は？	市長及び教育長
			②中学校区ごとの取組み差異は？	
			③義務教育後10代～40代の大人世代への愛郷事業としての対応は？	
		2. かすみがうら市の子ども達に将来負担を減らせるか～少子高齢化に財政縮小事業廃止が困難ならば次なる合併の選択は	①財政指標から見る当市の債務状況と全国、近隣との比較	市長
			②少子高齢化が進捗する10年、20年、30年後ごとの各会計収支の負担推計は？	
			③5年、10年、20年、30年後ごとの事業のやむを得ない縮小廃止率は？	
			④縮小廃止の有無ごとに市行政の合併タイミングは何年後に必要となるのか？	
			⑤合併機運の醸成は、市民に任せることが行政を掌るものの責任か？	

一般質問通告事項一覧

平成29年第1回定例会 NO. 2

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(2)	宮嶋 謙	1. 霞ヶ浦南小学校プールの水温対策について	①昨年から使用が開始された霞ヶ浦南小学校のプールに関し、児童・生徒から「水が冷たい」「寒すぎる」等の声が多数挙げられ、大きな問題となりました。これだけ多くの子どもたちから苦情が寄せられるに至った原因をどう分析したか、伺います。	市長、 教育長 及び 担当部長
			②どういう対策を行う計画か、伺います。	
			③通年利用できるように温水プールに改造し、市民への開放も行うことによって、広く市民の健康増進に寄与する施設として再スタートさせることも検討すべきだと思いますが、お考えを伺います。	
		2. 当市のゴミ処理行政について	①これまで、広域化と1施設への集約は経済的に優れているとの説明がありましたが、実は現有施設を長寿命化したほうがより経済的である可能性が判明しました。これまでの方針を転換すべきと思いますが、お考えを伺います。	市長及び 担当部長
②上辺だけではなく、本当の意味で循環型社会の形成を目指すゴミ処理行政を行うべきだと思いますが、お考えを伺います。				

# 一般質問通告事項一覧

平成29年第1回定例会 NO. 3

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(2)	宮嶋 謙	3. 市街地の高齢化対策と地域コミュニティの活性化について	①農山村部のみならず市街地においても高齢化が進んでいる実態があると思われませんが、現状を伺います。	市長及び担当部長
			②交通弱者対策としてのデマンド・タクシーが運営されていますが、希望を断られる例があるとの声が聞こえてきます。現状と対策を伺います。	
			③働く女性の家、勤労青少年ホーム、やまゆり館など既存施設の機能を整理統合強化して、さらに市民に喜ばれる施設に改良すべきだと思いますが、お考えを伺います。	

一般質問通告事項一覧

平成29年第1回定例会 NO. 4

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(3)	田谷 文子	1. 本市のまちづくりとしての千代田中存続の必要性について	<p>①コンパクトシティ、小さな拠点（コンパクトビレッジ）及び地域コミュニティづくりに基づくまちづくりと千代田中存続の整合性について コンパクトシティ、小さな拠点（コンパクトビレッジ）を標榜した本市のまちづくりを推進する中、今年度から各中学校単位で地域コミュニティづくりがはじまりました。その中核的な役割を果たしている千代田中学校の存続を前提としたまちづくりを積極的に推進していくことが地方創生を図るためにも市民からも求められているところですが、平成28年度の施政方針の中では、極めて重要な千代田中学校地区の4小学校の統合問題については、全く触れられておりません。また、現在の市政運営は、事業を展開しようとする計画が市民からみて極めて不透明であり、整合性が図られておりません。何ら対策を講じないまま、生徒数の減少のみをもって、千代田中を廃校に追い込む消極的な市政運営は、市民は求めておりません。市長及び教育長の考え、具体的な計画を伺います。</p>	市長及び教育長
			<p>②千代田中のこれまでの経緯変遷について 当時マンモス校となる千代田中学校を学区編成により下稲吉中学校を創設し、2校に分離した後の各中学校の生徒数の過去30数年間（5年毎）の経緯変遷について説明願います。</p>	
			<p>③千代田中地区の小中学校の学区編成の見直しについて これまで、学区編成の見直しの回数と千代田中学校・下稲吉中学校の生徒数の対比及び各中学校の市域面積並びに通学者の最大距離について説明願います。</p>	

# 一般質問通告事項一覧

平成29年第1回定例会 NO. 5

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(3)	田谷 文子	1. 本市のまちづくりとしての千代田中存続の必要性について	④標準規模に満たない小規模校が小中学校併せて約3万校中、約半数を占めている実情について 全国的にこの10年間で3,000校が統合されているが、小中学校併せて約3万校ある中、標準規模に満たない小規模校が依然として約半数存在している理由実情の所見をお伺いいたします。	市長及び教育長
			⑤学校存続と地域コミュニティの維持推進について 文部科学省が学校適正規模化・適正化配置等の説明資料の中で一定の児童・生徒の規模を確保することが望ましいが、今後の更なる少子化の進展により学校がなくなることによる地域コミュニティの衰退が懸念されていること等を踏まえ、各市町村の実情に応じた活力ある学校づくりをまち・ひと・しごと創生総合戦略で支援することが盛り込まれていることに対する認識と所見をお伺いいたします。	
		2. かすみがうら市（特に千代田中地区）における人口減少及び児童生徒数減少対策としての義務教育学校（小中一貫教育）の早期実現の必要性について	①統廃合の見直し計画及び行程について 統廃合の見直し計画が昨年市長より表明されましたが、学区審議会への諮問・答申等、今後の進捗状況と来年度以降の計画及び行程について市長にお伺いいたします。	市長及び教育長
			②義務教育学校早期実現の必要性について 文部科学省が推進している義務教育学校の早期実現の必要性について市長・教育長の認識所見をお伺いいたします。	
③義務教育の環境整備の遅延対応について 本市の義務教育の環境整備の遅延を取り戻す対応が必要であると思いますが、今後の円滑な事業推進を図るための施策方針についてお伺いいたします。				

一般質問通告事項一覧

平成29年第1回定例会 NO. 6

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(3)	田谷 文子	2. かすみがうら市（特に千代田中地区）における人口減少及び児童生徒数減少対策としての義務教育学校（小中一貫教育）の早期実現の必要性について	④市民・地域住民意見の行政への反映努力について 地域住民の意見を行政に最大限反映させるための手立てについてお伺いいたします。	市長及び 教育長
			⑤社会的児童生徒減少の行政責任と今後の対策について かすみがうら市の人口減少及び児童生徒減少、特に、千代田中地区の人口及び児童生徒の急激な減少、中でも市外や学区外への小中学校への通学による社会的児童生徒の減少に対する市の責任と今後の対策について	
		3. 職場における女性の働きやすい職場環境づくりと人材活用及び登用について	①男女別の育児休暇取得率並びに育児参加休暇の取得率及び平均取得数について	市長
			②管理的地位にある職員に占める女性職員の割合及び適正な人事評価による能力・実績主義による適材適所の人事配置がされているかについて	
			③ワーク・ライフ・バランス、キャリア形成等に関する職員の意識について	

一般質問通告事項一覧

平成29年第1回定例会 NO. 7

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(4)	矢口 龍人	1. 人口減少対策と地方創生事業について	①雇用の創出について 安定した雇用を創出し、新たな転入者を確保するための事業推進として、具体的な計画を問う。	市長
			②児童生徒数減少対策について 若い世代の結婚・出産・子育て支援の具体的な対策について問う。	
			③教育環境の整備充実について 国は元より、まちづくりは、人づくりからといわれているが、本市の義務教育に対する取り組みについての基本方針及び具体的な施策について問う。	市長及び 教育長
		2. 全市的義務教育学校（小中一貫教育）の早期実現並びに下稲吉中地区複合施設（中学校・コミュニティセンター・図書館）整備の必要性について	①各中学校区における義務教育学校の必要性について 今年度から義務教育学校の法整備施行及び小学校の英語教育実施に向けた本市の各中学校区の教育環境の整備充実と取り組みは喫緊の課題であり、その必要性を問う。	市長及び 教育長
			②下稲吉中地区複合施設整備（コミュニティセンター・図書館）の早期実現の必要性について 下稲吉中地区の公共施設の集約と併せて未整備施設の早期実現による行政サービスの向上充実の必要性について問う。	
			③下稲吉中地区における公共施設の立地の現状と集約の必要性について 下稲吉中地区における公共施設の現状認識と必要な行政サービス機能を一定範囲に集約することによる、効率的な生活・行政を目指す必要性と早期実現を問う。	市長及び 教育長

一般質問通告事項一覧

平成29年第1回定例会 NO. 8

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(5)	佐藤 文雄	1. 新たな広域ごみ処理施設建設問題について	①当市のごみ減量・資源化の目標値の見直しについて、問う。	市長及び担当部長
			②現施設の長寿命化か広域建替かについて、新治広域事務組合の解散に関わって問う。	
			③総予算と債務負担行為について、DBO方式の問題点に関わって問う。	
			④財源及び費用負担について、問う。	
			⑤総合評価方式の問題点について、問う。	
			⑥広域ごみ処理場建設について、「住民合意はある」と考える根拠を問う。	
		2. さくら保育所の閉所と保育の公的責任について	①来年度末、さくら保育所が閉所するとしているが、待機児童対策については万全なのか。あわせて保育の公的責任について、市長の見解を問う。	市長及び担当部長
			②さくら保育所の残存価値が車庫を含め約2億2千万円。これに解体費が加われば市側にとっては相当な損失となると思うが、市長の見解を問う。	
			③さくら保育所の借地に関わって現在地に設置された経過について、あらためて問う。	



# 一般質問通告事項一覧

平成29年第1回定例会 NO. 9

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(5)	佐藤 文雄	3. 下土田の残土問題について	①下土田の残土問題における畑地への復元について、市長の現状認識を問う。	市長
			②現区長側に従前どおり幕ノ内区として取り扱うことについて、市長の見解を問う。	
		4. 上下水道事業について	ハッ場ダム及び霞ヶ浦導水事業が完成すれば、実施協定による県水を全量受け入れることになる。水道料金の大幅な引き上げは避けられないが、なぜ、実施協定の見直しを要請しないのか。	市長及び 担当部長

一般質問通告事項一覧

平成29年第1回定例会 NO. 10

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(6)	設楽 健夫	1. 市民協働の前提となる政治倫理条例一政治倫理審査会の設置とコンプライアンス違反（繰り返される早朝酒気帯び運転検挙等）について	①市民協働の前提となる政治倫理条例一政治倫理審査会の設置について	市長
			②平成25年11月に提出された弁護士和市議会政治倫理に関する条例等に対する考察について伺う。	
			③前回平成27年7月と類似の早朝酒気帯び運転検挙が繰り返されるのは何故か、総括と対策を伺う。	
			④行政におけるセクハラ・パワハラの実態調査実施について	
	設楽 健夫	2. 全市バランスある文教・厚生行政の展開について一義務教育学校（中学校区小中一貫教育）の整備等について	①義務教育学校（中学校区小中一貫教育）基本方針の制定について	市長
			②義務教育学校（中学校区小中一貫教育）について近隣市との比較を問う。	
			③平成29年開始「介護予防・日常生活支援総合事業」の施策・包括支援センター社会福祉協議会を核とした推進体制について、近隣市格差是正策と課題を伺う。	
			④南小学校の保育所放課後児童クラブの間借り分離運営の解決策及び児童館設立について	

一般質問通告事項一覧

平成29年第1回定例会 NO. 11

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(6)	設楽 健夫	3. 逆西排水整備計画と菱木川水源確保及び一の瀬川水源の鶴沼水門管理について	①逆西雨排水区調査の提言と排水基本計画について	市長
			②菱木川源流の貯水池としての角来5湖の埋め立て経過について	
			③菱木川濁水（需要期）対策一角来湖（池）排水路水門管理について	
			④土浦市鶴沼調整池と出島用水を改良した排水事業の打ち合わせ経過について	
			⑤出島用水を活用した土浦市雨排水路整備に伴う一の瀬川鶴沼ダブル水門管理について	
	4. 霞ヶ浦二橋への接続道路設定と第一橋一県道穴倉玉里線整備及び西成井バイパス開通工事について	①県道194号穴倉玉里線整備計画への対応と接続する市道側溝整備計画について伺う。	市長	
		②霞ヶ浦二橋一高浜入り架橋に至る穴倉玉里線（県道牛渡馬場山土浦線接続）の整備について伺う。		
		③霞ヶ浦二橋美浦栄線に対応するかすみがうら市接続路線の設定について伺う。		
		④国道354・協同病院アクセス道路に接続する神立西成井線一西成井バイパス開通への必要工事について伺う。		

一般質問通告事項一覧

平成29年第1回定例会 NO. 12

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(7)	来栖 丈治	1. 行財政改革の推進について	<p>①少子高齢化や人口減少社会が現実のものとなり、持続可能な行財政運営への転換を推し進めることは喫緊の課題です。そこで当市の行財政改革プランの進捗状況と今後の具体的方針についてお伺いいたします。</p> <p>②公共施設の維持管理、そして有効活用と限られた予算の中で難しい舵取りです。そこで経常経費の削減に向け、施設の借地料の削減は有効と考えますが、どのように進めていく考えかお伺いいたします。</p>	市長及び 担当部長
		2. 地域包括支援センターの機能向上について	平成27年の制度改正に伴う地域包括支援センターの運営がこの4月から実践に移ると聞きますが具体的な事業運営についてお伺いいたします。	
		3. 市内のヤードに対する防犯対策について	市内には周囲をコンテナや塀などで囲んでしまい中が見えない「いわゆるヤード」という施設が散見されます。子どもや女性が中に連れ込まれても周りからは見ることはできず、また、自動車、農機具など一時保管、解体販売などの作業場になっているとも言われています。そこで、市民生活の安全防犯の観点から現状と今後の対策についてお伺いいたします。	市長及び 担当部長
		4. 霞ヶ浦南小プール水の加温対策について	<p>①「霞ヶ浦南小プールの水が冷たい」多くの保護者を中心に訴えがありました。そこで、どのような対策を講じるかお伺いいたします。</p> <p>②当市では多くの公共施設に太陽光発電施設を設置していますが、その太陽光施設を活用した加温施設（温水機）を整備を提案いたします。</p>	市長及び 教育長